登米市立中田中学校

郵便番号　987－0621
住　　所　登米市中田町宝江黒沼字新西野70
電　　話　0220－34－2241
Ｆ　Ａ　Ｘ　0220－34－2131
生　徒　数　390名(5月1日現在)
校長氏名　渡邊　　峻

校章
中田中の文字を平和と学業のシンボルである4本のペン(石森･宝江･上沼･北上)でしっかり支え，さらにペン先は集う中田中学校を表し，互いの融和と学校の限りない発展を願う姿を象徴したものである。

校木「つつじ」
1　つつじは，踏まれても強靭に育つ。
2　つつじは，寒さに耐え常緑に育つ。
3　つつじは，豊かに個々の色に花が咲く。

令和４年度のスタート

中田中学校では，生涯にわたって学び続ける**「心身ともにたくましい生徒の育成」**を期して，次の目標を定め，その具現化に向けて取り組んできました。

教育目標

○ 夢と志をもち，自らの生き方を主体的に探究する態度を養う。　**「高い志と生き抜く力」**
○ 健康と体力の増進に努め，他者と協調し共に生きる態度を養う。　**「心身の健康と社会性」**
○ 友愛を深めるとともに，豊かな感性とたくましい心を養う。　**「友愛とたくましい心」**
○ 基礎学力を身に付け，自ら課題を見つけ解決する態度を養う。　**「基礎学力と課題解決」**

そして，今年の学校テーマを
『時を守り，場を清め，礼を正す』とし，
次の項目を重点に指導していきます。

○ 課題を自分のこととしてとらえ，主体的に課題解決に迫る指導の充実を図る。（学力の向上）
○ 人権尊重の精神を基盤とし，思いやりや共生の心を育む。（心の教育の充実）
○ 共感的で安心感のある人間関係づくりに努めるとともに，生徒主体の活動の推進をとおし自己有用感を味わわせる。（生徒指導の充実）



創立５０周年を迎えて

昨年度，創立５０周年を迎えた中田中学校は，これまでの伝統を継承し，新たな時代への一歩を踏み出すとともに，地域と協力しながら，特色ある学校づくりを目指していきます。



創立 50 周年記念集会



学校支援ボランティア書写教室



ICT を活用した授業



手作り弁当の日

生徒会の主体的な活動

令和４年度　生徒会テーマ
超越・共生－果てしなき挑戦－

【テーマに込められた思い】
歴史ある中田中学校 50 年間の伝統を踏まえ，それを超えるために新たな一歩を踏み出していく。全校生徒が協力し合って、個性を尊重しながら共に生きていく。

◆ 朝のあいさつ運動の継続

生徒会執行部を中心に継続してあいさつ運動に取り組んでいます。部活動ごとに場所を分けて行うなどの工夫をし，「あいさつ日本一」の学校を目標に，「明日も来たいと思える学校」を目指して活動しています。

◆ 委員会の活性化

毎月一度，生徒会執行部と各委員会の委員長が集まり代表委員会を行っています。生徒会執行部を中心に７つの常設委員会と３つの学年委員会が協力し，活動を盛り上げています。

◆ 各行事の活性化

生徒会が中心となって，運動会や合唱コンクールの成功を目指して企画･運営を行っています。各行事ではコロナ禍の中でも，各部活動や委員会の生徒も協力し合い，工夫を凝らして行事を盛り上げています。



中田中学校の２大行事　運動会と合唱コンクール



校庭で行った壮行式

「ｐ４ｃ」実践　～ philosophy for children ～（探求の対話）

本校では，これまで国立大学法人宮城教育大学上廣倫理教育アカデミーの先生方からご指導をいただきながら p4c を実践しています。p4c とは，ハワイ発祥の新しい教育手法で「今と昔では，どちらが良い時代なのだろうか？」や「もし地球が明日消えるとしたら，その前に何をするか？」というように「答えの無い問いについて全員で考える」というものです。この手法の中で特に重要とされているのが「意見がまとまらない時はパスすることができる」「どのような意見も否定されない」という誰もが安心して参加することができるという Safety（セーフティー）です。本校では，“絆づくり”の一環として学級活動や道徳の授業に取り入れて，生徒全員が安心してクラスの一員として活動できることを目的としています。



p4c で使用するコミュニティボールを作る様子



問いについて考えを巡らせる様子